

所在地 大阪市旭区清水5-1-12

電話番号 06-6952-6661

校長名 川本 直也

標準服の有無 無



学校の概要

清水小学校は、明治6年(1873年)に前身の千林尋常高等小学校として開校し、その後大正11年(1922年)に、現在の小学校が創立され、令和4年(2022年)に100周年を迎えた伝統ある学校です。本校は、旭区東部に位置しており、校区の一部が守口市と隣接しています。創立以来、人権教育を基盤に一人ひとりのよさや可能性をのばし、「生きる力」を育む教育活動を推進しています。

学校ホームページ

<http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e681510>

大阪市立清水小学校



携帯サイト

主な学校行事

- 4月…対面式、はじめまして集会、学習参観
- 5月…個人懇談会・自宅確認、全校集会、全校遠足
- 6月…日曜参観、修学旅行(6年)
- 7月…個人懇談会、林間学習(5年)
- 8月…登校日
- 9月…地域合同防災訓練、学習参観、遠足
- 10月…就学時健康診断、運動会、全校集会
- 11月…学習参観、芸術鑑賞会
- 12月…清水まつり、個人懇談会・作品展
- 1月…避難訓練、卒業遠足(6年)
- 2月…全校集会、クラブ見学会
国際クラブ(サンノックス発表会)
- 3月…卒業を祝う会、地域別児童会



児童数、学級数 (令和8年5月1日現在)

学年	男子	女子	計	学級数
1	26	29	55	2
2	34	30	64	2
3	32	26	58	2
4	46	35	81	3
5	35	36	71	2
6	35	41	76	2
特別支援学級				9

学校公開・説明会 日程

- 学校公開／9月19日(土) 9:40~11:25
10月18日(日) 9:00~12:30
9月19日(土)…地域合同防災訓練
10月18日(日)…運動会※
※雨天順延時の予備日…10月21日(水) 9:00~12:30
- 学校説明会／9月19日(土) 9:00~9:30
※参加にあたっては必ず12・13ページをご確認ください。

通学区域以外からの就学について

- 集団登校／無
- 通学のルール／保護者の責任で安全を確保して登校。

全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査

令和7年度全国学力・学習状況調査 (平均正答率)

国語	算数	理科
57%	52%	54%

- 結果の概要／全国平均と比べると、国語科は9.8ポイント、算数科は6ポイント、理科は3.1ポイント低い。また、大阪市平均と比べると、国語科は8ポイント、算数科は6ポイント、理科は1ポイント低い。
- 取組の成果／習熟度別少人数授業での一人一人に合わせた丁寧な指導や、ICT機器を活用した指導を継続してきた成果が一定程度見られる。ICTを活用して学習する習慣も身に付きつつあることが分かった。
- 今後の取り組むべき課題／デジタルドリルを活用して漢字や計算などを繰り返し練習することで、基礎・基本の学力の定着を図っていく。放課後の補充学習にも取り組み、学力の定着しにくい児童や家庭での学習習慣が身に付いていない児童への支援も行っていく。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (平均値)

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回)	30m走(秒)	立ち幅とび(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(回)	体力合計点
男子	16.59	19.03	29.50	33.03	40.91	9.70	141.18	19.94	47.31
女子	15.38	21.31	33.35	33.13	38.76	9.75	134.34	13.00	52.50

- 結果の概要／体力合計点においては、女子は大阪市・全国平均をわずかに下回った。男子は大阪市・全国平均を大きく下回り、男子の運動・体力面の課題が大きいことが分かった。
- 取組の成果／外部講師の招聘や業間体力づくり、学級でのみんな遊びなどに取り組み、運動に親しみ、体を動かす機会を増やした結果、男女ともに体を動かすことが好きになり、運動に取り組む機会の増加につながっている。
- 今後の取り組むべき課題／柔軟性、敏捷性、瞬発力、跳躍力を向上させる取組が必要である。特に、柔軟性を向上させるために体育科の授業でのストレッチの時間の確保や様々な部位を使った動きなど、各学年の実態に合わせた取組を継続して行っていく。

教育目標

差別の現実に学び、人権教育を実践する

～人権教育を基盤に、一人ひとりのよさや可能性をのばし、「生きる力」を育む教育活動を推進する～

- 現実を正しく見つめ、差別を許さない子どもの育成
- 自分のものとして学力をしっかりと身につけていく子どもの育成
- 一人ひとりのことをみんなで、みんなのことを一人ひとりが考える集団の育成

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

年度目標

- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 校内児童アンケートにおける「命を大切にすることや友だちを大事にすることについて考えている」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

年度目標

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

年度目標

- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。

活動の様子



全校集会



全校遠足



読み聞かせ



運動会



6年修学旅行(広島方面)



清水まつり